

1 改定計画名

現行計画策定時の議論

- (当初案の「札幌市ヒグマ対策基本計画」について)  
「対策」は生物多様性、共生の意味合いが感じられない?
- 生物多様性・保全、共存(共生)のイメージがより反映された方がよいのでは?
- 市として初めて示す計画なので「基本」はあった方がよい?

札幌市の他計画

- (例) ● 第2次札幌市アイヌ施策推進計画  
● 札幌市気候変動対策行動計画  
● 第2次札幌市空家等対策計画

施策推進計画  
対策計画  
など

他自治体の計画

北海道ヒグマ管理計画

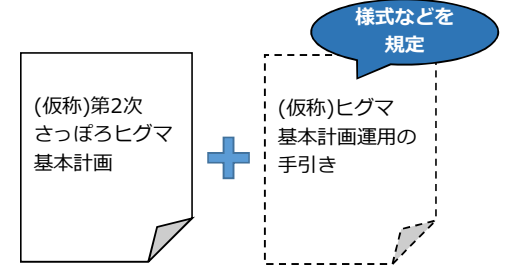
知床半島ヒグマ管理計画

- 鳥獣保護管理法第7条の2第1項に基づく「第二種特定鳥獣管理計画」
- 北海道が策定
- 北海道ヒグマ管理計画の地域計画
- 林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、標津町及び環境省で策定

協議事項

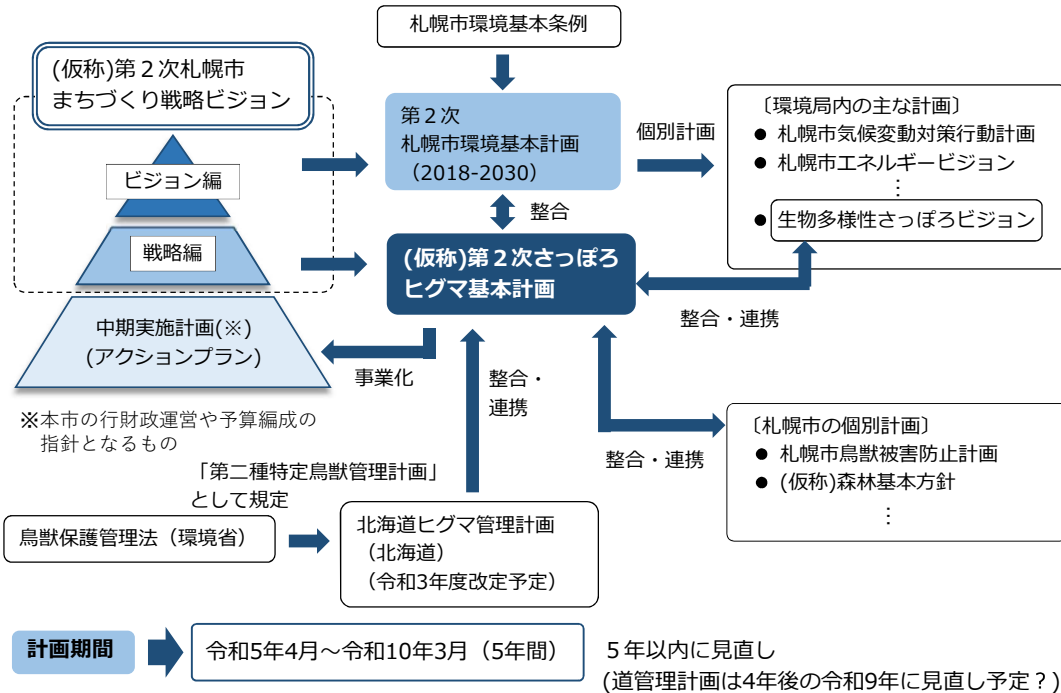
- (仮称)第2次さっぽろヒグマ基本計画～ヒグマ被害防止と共存～ をベースに
- よりの確かな名称にすべきか
  - 「副題」の表現について

2 方針編・手引き編の分類について



- 改定計画では1冊で内容を網羅
- その他概要版を作成
- 様式や手続きなどの事務的なもの、内部的な連絡網などは「手引き」にまとめる  
→関係機関のみの公開、適宜更新

3 改定計画の位置づけ



4 改定計画の目指す姿と基本目標

目的

札幌市域における生物多様性の保全を前提とし、ヒグマとのあつれきを軽減することで、市民生活の安全の確保を図りながら、ヒグマとの共生を目指す

計画の目指す姿

- 1 被害の防止とあつれきの軽減
- 2 市民のヒグマへの意識及び理解の向上
- 3 侵入抑制策の推進

協議事項

- 目指す姿の設定について
- 基本目標について

計画全体の  
“ビジョン”的なもの

計画の目指す姿(案)

- 市民の安全・安心確保
- 生物多様性の保全

ヒグマとのあつれき軽減  
↓  
ヒグマとの共生

- **安全な市民生活を確保**を最優先とし、札幌市域の**生物多様性の保全**を確保することで、ヒグマとのあつれきを軽減し、ヒグマとの**共生**を目指す
- 「**人とヒグマが幸せに暮らせるまち・さっぽろ**」

基本目標

- 1 出沒対応を迅速に行い被害の防止に努める
- 2 市街地侵入抑制策のさらなる推進を行う
- 3 市民のヒグマへの意識を醸成する